

ゆめスタ マガジン

2025

07

# YUME

MAGA



後輩や会社の成長を支えたい  
成長は毎日を楽しくさせる

西枇工業株式会社  
土屋 琴音  
Kotone Tsuchiya

ゆめマガ

# ゆめマガとは

ゆめスタマガジン

未来へ向かって羽ばたこうとする  
若者・学生たちを応援する雑誌です！

---

進学や就職、留学、ボランティア活動など、  
あらゆるフィールドで夢を追いかけるあなたを  
サポートするために、リアルな成功体験や失敗から学んだ貴重なストーリー  
を紹介！

さらに、専門家によるアドバイスや最新トレンド情報も満載で、あなたの可  
能性を広げるヒントがきっと見つかります！

「こんな道もあるんだ！」と新たな発見や気づきを得られる情報誌！

自分らしい未来を切り拓くためのきっかけをこの雑誌で手に入れませんか？  
一歩踏み出すあなたを、心から応援します！



# 目次\_

## 1 high school ～生徒の夢に寄り添い、共に育てる学校～ P4～

生徒一人ひとりの夢に寄り添い、共に育つ教育を実践する高校です。多様な進路に対応した柔軟なカリキュラムと、温かなサポート体制により、生徒の個性と可能性を伸ばします。学力はもちろん、人間力も育てる教育で、未来を自分らしく生きる力を育み応援する学校のご紹介！

## 2 ゆめスタパートナー企業 P6～

学生や若手社員の成長を全力で応援するゆめスタパートナー企業です。挑戦する意欲を尊重し、学びと実践の場を提供。充実した研修制度や丁寧なサポート体制で、一人ひとりの可能性を引き出します。未来を担う人材が安心して成長できる環境づくりや取り組みをご紹介します！

## 3 STAR INTRODUCTION P16～

STARインタビューは、「夢をスタートして叶える」ゆめスタプロジェクトの一環として、夢に向かって頑張る人＝STARを応援する企画です。未来への不安がある時代だからこそ、輝く若者たち、経営者の声を発信し、地域や社会を明るく照らす力のSTAR達をご紹介します！

## 4 愛知県警察 P42～

「楽に稼げる」「誰でもできる」—そんな甘い言葉で誘う闇バイト。実は詐欺や犯罪の手伝いをさせられる危険な行為です。知らずに関われば、あなた自身が加害者になることも。愛知県警察は、高校生の皆さんが被害にあわないよう注意を呼びかけています。少しでも怪しいと感じたら、絶対に手を出さず、大人や警察に相談してください！



# 名古屋経済大学市邨高等学校



high school

～生徒の夢に寄り添い、共に育てる学校～

い かなる時も  
ち からを合わせ  
む げんの可能性を  
ら んまんに生きる

## いちむらの想い



## ～AIには生成できない未来を～

今、この瞬間に思い描く未来は、  
希望にあふれていますか？

未来は予想するものではなく、自ら創り出すもの。

未来のあるべき姿は、時とともに変化する。

あなたの未来も、あなたの学びが深まるたびに、日々刻々と変わっていく。

あなたの思い描く未来は、もっと明るくなっていく。

## ～いちむらの考える「学び」とは～

学びとは、  
**体験すること・探究すること・主体的であること**

みんなと、時にはひとりで、何かに深くのめりこむ。

考える、やってみる、失敗する→

ふり返る、反省する → またやってみる

このサイクルが「学ぶ」ということ。

そのくり返しで知識をふくらませ、理解をより深めていく。

学びは本来「自由」なもの

学びは本来「楽しい」もの

競争ではなく、「共創」(共に創りあげること)

学力は、「**楽力**」(学びを楽しむ力)から。

「**学び**」を自分で創り出し、

「**学び**」に向かって

自分から行動すること。

## いちむらの学び





名古屋経済大学 市邨中学校・高等学校  
校長先生の若山和彦さんに『夢』をテーマに  
して、取材をさせていただきました！  
若山校長の経歴や学生の皆さんへのメッセ  
ージをお伝えします！

## 名古屋経済大学 市邨中学校・高等学校 校長 若山 和彦



夢は変わってもいい。  
でも、あきらめる必要はない。

## 夢は変わってもいい。でも、あきらめる必要はない。

### —校長先生のご経歴について教えてください。

名古屋工業大学で工学を学び、数学の教員免許を取得して卒業後すぐに高校の先生になりました。  
本当はテレビのプロデューサーにも憧れていたんです。でも、部活と仕事の両立ができるのは教員だと思って、この道を選びました。最初の勤務校は豊明高校でした。

### —豊明高校での最初の経験は？

当時の豊明高校は新設校で、みんなが大学進学を目指して一生懸命に頑張っていました。僕自身が通っていた高校は自由な雰囲気だったので、最初はルールが多さに戸惑いました。でも、社会に出るとルールは必要だし、それをどう伝えるかが大事だと気づいたんです。

### —その考えは今の教育にも影響していますか？

はい。ルールは生徒を縛るためではなく、「生徒のため」にある。そう教えてくれた先輩方の姿勢が、今の教育観にもつながっています。生徒の成長をサポートする教職は、究極のボランティアみたいな仕事で、本気で生徒と向き合う仲間と囲まれていたことが、僕の原点です。

### —その後、日進高校に18年も勤務されたとか。

そうなんです。日進高校には、少し学校に馴染めなかった子たちが多く来ていました。でも彼らは素直で吸収力がある。こちらのアドバイスを真っすぐ受け止めてくれて、やる気さえあればどんどん成長していく。やりがいのある環境でしたね。

### —特に印象に残っている生徒はいますか？

たくさんいますよ。通知表がオール3に満たない子が、生活習慣から見直して、最後には医学部に合格したり。駅の掃除を始めて、地域の人に「ありがとう」と声をかけられ、自分の価値に気づいていった子もいました。勉強が得意じゃなくても、自分の強みを見つけて社会で活躍することはできる。そう信じて、常に「今からでも変わる」と伝えてきました。

### —指導の中で、反省もあるとお聞きました。

はい。受験指導で僕がすべて教え込んでしまい、生徒自身の力を伸ばしきれなかったかもしれないと感じることもあります。今なら、「自分で考え、行動できる力を育てる」指導に切り替えていると思います。

### —それはすごいですね！

最初は問題行動も多かったですよ。生徒指導案件が年間300件以上。でも、最後の年には30件ちょっとまで減っていました。やっぱり、人って変わるんです。ルールを教えて、意味を伝えることで、生徒たちも「もうやめよう」と思えるようになるんです。

### —今の高校生に伝えたいことは？

夢は変わってもいい。でも、あきらめる必要はない。やりたいことが変わるのとは自然なこと。大事なのは、「今、本気で向き合っているかどうか」です。失敗したっていい。そこから学べば、それは前に進む力になるから。自分の可能性を信じて、何度でも挑戦してください！



# 一榮工業株式会社



どんな会社？事業内容について教えて！

## SERVICES

豊田合成グループ唯一の金属部品加工メーカー

自動車の安全性を高める高品質な製品を送り出しています。



自動車用ハンドル部品です。  
樹脂ハンドル、アルミ芯金は国内トップシェアを誇ります。



運転席、助手席および足元のエアバッグを収納し、衝突時にエアバッグが作動する部品です。  
国内トップシェアの製品です。



歩行者との衝突を検知した場合、フロントガラス付近で作動するエアバッグ部品です。



代表からのメッセージ！

## MESSAGE

代表取締役 社長 加藤 克彦さん



当社は、豊田合成株式会社(TG)グループの一員として半世紀以上にわたり、自動車用ハンドル・エアバッグ製品の金属部品を主に製造してまいりました。これらの部品は自動車に乗る方のみならず歩行者の方々も含めた、人の命を守るためにとても大切な”安全”部品です。  
部品を安定して供給するため、技術力・現場力・品質保証力の強化や人づくりを進めるとともに、愛知県尾張地域に根差した事業活動と社会貢献活動をおして、社会・地域とともに成長し信頼される企業となるように、これからも進化を続けてまいります。



## 一緒に働くメンバーに質問してみました！

### STRENGTHS

### 一榮工業で働くメンバーの声！



#### 入社の決め手はなんでしたか？

自分が企画した設備が稼働し、新製品が無事に生産されるなど、成果を出した際の還元がしっかりしていたからです。頑張りを認めていただける環境があるのでモチベーション高く取り組むことができます。



#### 会社の魅力はどんなところですか？

他部署との交流機会が多く、様々な意見を取り入れながら仕事の質を高めていけることが魅力だと思います。切磋琢磨できる環境で自分自身の成長にもつながっていくと感じています。



#### 実際の仕事量はどれくらいですか？

月の平均残業時間は約20時間ほど。休日はトヨタカレンダーに準ずるため長期休暇は9～10日間と長いです！休みの日はBBQや川遊びをしたり、家で家族とゆっくり過ごしたり充実しています。



## 会社自慢の取り組み！

### PARTNERS

### 社会貢献活動・スポーツ支援

当社は、地域社会への共生、環境との調和を目指し、さまざまな活動を行っています。

会社周辺での交通安全立哨や清掃活動、一宮市公共施設アダプトプログラムや豊田合成グループ・グローバル一斉社会貢献活動への参画などを行っており、今後も地域に根差した社会貢献活動に取り組んでまいります。



豊田合成グループには、国内トップリーグで活躍するバレーボール・ハンドボール・バスケットボールの各クラブチームがあります。

当社は豊田合成グループの一員として2020年より、バレーボールVリーグ1部男子「ウルフドッグス名古屋」とチームパートナー契約を締結し、年間を通じ、応援活動を行っています。



## 会社情報！



|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 社名   | 一榮工業株式会社                                        |
| 設立   | 1960年（昭和35年）6月25日                               |
| 所在地  | 愛知県一宮市明地字井之内1番地                                 |
| 代表者  | 代表取締役社長 加藤 克彦                                   |
| 事業内容 | 自動車用ハンドル部品、エアバッグ部品、エンジン周辺部品などの自動車部品製造<br>他産業用部品 |
| 従業員数 | 144名（2024年4月1日現在）                               |

Scan Me!



高校を卒業して新たな一歩を踏み出した  
山田さんの声をお届けします！  
今の目標や、実際に働いてみて感じたやりが  
い・成長、そして今後の目標まで  
リアルな体験談をインタビュー形式でご紹介！  
これから進路を考える皆さんにとって  
将来の参考になればうれしいです！

## 山田 紗有希

一榮工業株式会社



令和7年卒業

愛知県立一宮商業高等学校

### —今の目標について教えてください。

今の目標は、とにかく1日でも早く仕事を覚えることです。今はまだ分からないことばかりで、毎日が本当に勉強の連続なんですけど、少しずつでも覚えて、周りの先輩方のサポートができるようになりたいなと思っています。最初の頃はただ「ついていくのに必死」だったのですが、今は「自分も役に立ちたい」という気持ちが強くなってきました。頼ってもらえるような存在になるのが、今の私の目標です。

### —真面目でいいですね。今は覚えるだけでも大変だと思いますが、将来的に「こうなりたい」という目標や、憧れている先輩はいますか？

そうですね。今、私に仕事を教えてくださっている先輩がいるんですが、その方の働き方が本当にかっこよくて。仕事をテキパキこなしながら、周りにもちゃんと目を配っている姿がすごく素敵で、いつか私もあんな風になりたいなって思っています。だからまずは、先輩が担当している業務をすべて覚えることが目標です。簡単なことじゃないけど、少しでも近づけるように努力しているところです。

### —過去に将来の夢などありましたか？

本当に小さい頃の話ですが、ケーキ屋さんになりたかったんです。お菓子作りが好きだったのと、キラキラしたショーケースに並ぶケーキを見るのが大好きで、「将来はここで働きたいな」って思っていました。

### —イメージ通りですね！中学生の頃はもうでしたか？

中学の頃は……正直、全然考えてなかったです（笑）。あまり夢とか目標とかなくて、「とにかく働ければそれでいいや」みたいな、ちょっと現実的すぎる子どもだったと思います。今考えると、もう少し何かに夢中になっておけばよかったかなとも思いますね。

### —夢って難しいですね。将来の夢まではいなくても、「やってみたいこと」って昔から何かありましたか？

あります。海外に行ってみたいんです。まだ一度も行ったことがなくて。テレビやSNSで見る景色や文化にすごく憧れがあって、「いつか自分の目で見てみたいな」って思っています。日本とは全然違う環境に身を置いたら、きっと新しい発見があると思うので、今のうちにいろんな経験を積んで、いつか実現させたいです。

### —海外旅行、いいですね！では、今いちばん熱中していることや、力を入れていることはありますか？

今、すごく力を入れているのが料理です。実は最近になってやっと料理を始めたばかりなんですけど、週に3回は晩ごはんを自分が作るって決めていて。最初はレシピを見ても全然うまくいかなかったし、包丁を持つ手もぎこちなかったんですけど、続けていくうちにだんだん楽しくなってきた、最近では「今日は何か作ろうかな」って考える時間も好きになってきました。まだまだ上手とは言えないけど、自分の手でおいしいものを作れるって、ちょっと感動するんです。

### —素敵ですね。得意料理はありますか？

得意と言っていいのかわからないのですが、いちばん自信があるのは肉じゃがです。初めてちゃんと作れた料理で、家族にも「美味しい！」って言ってもらえたので、思い入れも強いです。家庭的な味って、やっぱりほっとしますよね。

### —次に、やる気を維持するためにしていることがあれば教えてください。

「ご褒美」を用意することです。たとえば、「ここまでやったら好きなおやつを買おう」とか、「今週頑張ったら日曜日はちょっとだけんびりしよう」って自分に小さな楽しみを作るようにしています。あらかじめ「これが終わったらこうしよう」と決めておくと、それを目指して頑張れるんです。単純かもしれないですけど、私にはすごく合っている方法だと思っています。

### —なるほど、ご褒美ですね。今までの中で一番良かったご褒美ってありますか？

一番良かったご褒美……うーん、やっぱり「おやつ」ですかね（笑）。ちょっとコンビニで好きなお菓子を買おうとか、それだけで気持ちが上がるんです。そんなに大きなご褒美じゃないけど、気軽にできるし、日々のちょっとしたモチベーションになっています。

### —では最後に、「成長したな」と実感した経験について教えてください。

「できなかったことができるようになったとき」は、自分でも成長を感じますね。小学生の頃、二重跳びがまったくできなかったんです。でもどうしてもできるようになりたいくて、放課後に毎日練習して、何十回も失敗して……ある日やっと一回跳べたときは、本当にうれしかったのを覚えています。そのときの「やればできるんだ」という感覚が、今でも心に残っています。仕事に関しても、最初の頃は本当に分からないことばかりで不安でした。でも、少しずつ業務の流れが分かってくると、「あ、自分で判断して動ける場面が増えてきたりすると、「あ、成長してるかも」と感じる瞬間があります。まだまだ半人前ですが、日々の積み重ねで、確実に前に進めている実感があります。

### —とてもいいお話を聞かせていただきました！ありがとうございます！





高校卒業後に社会人として働き始めた林さんに、仕事のやりがいや入社を決め手、成長を感じた瞬間などをインタビューしました！  
高校新卒として働くリアルな姿を知ることで、自分の進路を考えるヒントになるはずですよ！  
これからの未来に向けて、一歩踏み出すきっかけを見つけてください！

## 林 煌基 一榮工業株式会社



令和7年卒業

愛知県立一宮起工科高等学校

—今の目標について教えてください。

やっぱり、「ものづくりを続けていくこと」が自分の夢ですね。製造の仕事を選んだのも、「何かを作ってみたい」という気持ちでずっとあったからだと思います。中学・高校の頃から漠然と「なんでもいから何か作ってみよう」という想いがある。高校では工業高校に進学したんですが、そこで溶接や旋盤に触れて、「もっとやってみよう！」という気持ちが強くなりました。いろんな就職先を調べていく中で、「金属加工」に興味を持つようになって、唯一の金属加工を専門とする会社として一榮工業が出てきて、「ここで働きたい」と思いました。

—ものづくりが本当に好きだったんですね。

はい。小さい頃から段ボールでいろんなものを作ったり、高校の文化祭ではトロコやキャラクターの顔を作ったりして楽しんでいました！w

—そういった好きなことが今の仕事にもつながっているんですね。ちなみに、「こういうものを作りたい」という具体的な夢はあったんですか？

具体的に「これを作りたい」というのはなかったですが、乗り物は好きでした。車とか電車、変わったショベルカーなんかを見ると、つい目がいつちゃって。「カッコいいな」と思って見とれちゃうこともありました。一榮工業が車の部品を作っているということもあって、「もし自分がその部品を作ったら、あの部品は自分が手がけたんだ」と思える。そういうやりがいも感じました。

—仕事と夢がリンクしている感じですね。今後もスキルアップして、さらに製造の仕事に極めていきたいという気持ちはありますか？

はい、現在は製造部門で働いていて、毎日さまざまな作業に取り組んでいます。まだまだ覚えることはたくさんありますが、先輩方に教えていただきながら少しずつできることが増えてきて、自分の成長を感じられるのが嬉しいです。今後はもっとスキルアップして、より複雑な作業や新しい工程にも挑戦していきたいと思っています。将来的には、周りから信頼される存在になれるように努力を続けていきたいです。

—素晴らしいですね。やる気を維持するために、これまで意識してきたことはありますか？

高校の時は、目標を達成するまでは「好きなことを我慢する」ようにしていました。たとえば、テストが終わるまでは遊びに行かないとか、テレビを見ないとか、ですね。自分に厳しくしていました！

—なるほど！自分をちょっと厳しく律してたんですね。

そうですね。中学生の頃は、つい勉強を後回しにしてしまって、なかなか集中できなかったり、思うように成績が伸びなかったことがありました。その経験から、「このままじゃダメだな」と感じて、高校では同じことを繰り返さないように意識を変えることにしました。まずは「テストでいい点を取る」という具体的な目標を立てて、毎日の授業をしっかりと聞くことや、家でも復習をするなど、できることからコツコツ取り組みました。そうやって目の前のことに一つひとつ向き合ううちに、少しずつ自信もついてきて、前向きに勉強に取り組めるようになりました。

—すごいですね！働き始めてから、「成長したな」と感じた経験はありますか？

高校受験の時ですね。正直、自信がなくて「受かってたらいいな」くらいの気持ちで受けたんですけど、無事に合格できて。「やればできるんだ」という自信ができました。それから資格もいくつか取得していて、今では6〜7個くらい持っています。先生から「就職に有利だから取ったほうがいいよ」と言われて、「じゃあやってみよう」と。落ちた資格もありましたが、再チャレンジして受かったこともありました。そういう経験を通じて、自分は「やればできる」って少し思えるようになりました。

—すごいですね！資格をそんなにたくさん！

簡単なものばかりではありますが、それでも資格は資格なので、自分の中では大きな自信につながっています。勉強して目標を達成するという経験を通して、「やればできる」という気持ちを持てるようになりました。これからのこともっと難しいことにも挑戦していきたいですし、少しずつでも知識やスキルを増やして、仕事にも役立てていきたいと思っています。資格を取ることで、自分の成長を実感できるのがうれしいですね。

—これから挑戦してみたいことってありますか？

今後、仕事ではおそらく「保全」のような、機械の異常を調べる監督的な立ち位置になると思います。その前にいろいろな部署を見て回らと思うので、ひとつずつ覚えていって、いずれは全体が見渡せるようにになりたいです。でも、全部分かってしまうと仕事がちょっと退屈になるんじゃないかとも思っていて…。なので、そうなった時には、仕事とは別で「音楽をやりたい」とか、「旅に出たい」とか、そういうこともやってみたいです。

—音楽も素敵ですね！それは面白いですね！

聞くのは好きなんですけど、自分でも音を作りたいなって思ったことがあります！

とてもいいお話を聞かせていただきました！ありがとうございます！



## 株式会社マルトモ

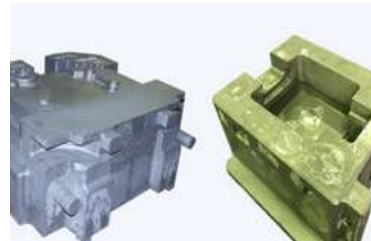


## どんな会社？事業内容について教えて！

### SERVICES

### 鋳物技術のプロフェッショナル集団

愛知県のモノづくりをリードする各メーカー様の工作機械製品に使われる各種部品を製造しています。高品質な部品を提供し続けることで、各メーカー様と長きに渡って信頼関係を維持しています。



株式会社マルトモでは、主に「工作機械用途」「産業機械用途」「ダイキャスト金型」の製品を製造しています。図面の検討から材料の受け入れ、鋳造、加工、そして検査・納品まで、各工程で徹底したチェックを実施し、品質の高い製品を提供いたします。

## 代表からのメッセージ！

### MESSAGE

### 代表取締役 錦見 裕介さん



私たちマルトモは1946年から現在に渡り鋳造技術を磨き続ける鋳物のプロフェッショナル企業です。製造する産業も様々な分野のユーザー様とお取引させて頂いております。工作機械・産業機械・鍛圧プレス機械・ダイキャストホルダーなど多くの産業に携わらせていただいております。

鋳物製造はモノづくりの原点のような作業が多く完成後の喜び、嬉しさは作った者にしか分からない所が多数あります。今後も歴史のある鋳造技術を継承しつつ現代の手法も取り入れ合わせながら更なる技術革新で進み続けます。

そして働く社員が安心して働ける職場、働く社員の家族が安心して送り出せる会社、働く人が誇りをもてる企業づくりを目指していきます。



## 一緒に働くメンバーに質問してみました！

### STRENGTHS

### マルチモで働くメンバーの声！



#### 入社の決め手はなんでしたか？

鹿児島から出て、自分の知らない土地で社会人としてのスタートを切りたいと考え、担任の先生に相談したところ、マルチモを勧めていただきました！  
会社のイベントや福利厚生が魅力的なところも入社の決めて手になりました！



#### 会社の魅力はどんなところですか？

従業員一人ひとりが安心して働ける職場づくりを目指すだけでなく、そのご家族や大切な方々にも配慮した制度や取り組みを行っています。働く人の「しあわせ」は、周囲の人の支えがあってこそ。  
全ての関係者を大切にしています！



#### 会社の強みはなんですか？

鑄造技術を駆使する「IMONO」のプロフェッショナル企業です！  
歴史ある技術を背景に現代の顧客ニーズにしっかりと応え、高い品質の維持及びさらなる品質の向上に常に取り組み、地物産業界の基幹分野をリードし続ける企業を目指しています！



## 会社自慢の取り組み！

### PARTNERS

### 社内イベント活動・『嬉しい☆楽しい』福利厚生！

株式会社マルチモでは、社内イベントも豊富！  
ボウリング大会や慰安旅行、BBQにサークル活動など、楽しくて充実したイベントを実施しています！



- ☆社員旅行
- ☆社内レクリエーション
- ☆バースデー休暇
- ☆オシャレ制度
- ☆会員制リゾートホテル優遇
- ☆クラブ活動支援
- その他複数制度あり！



社員の誕生を会社としてお祝いすると同時に、プライベートな時間を大切にしてもらうことを目的としています！



社員の皆さんのおしやれを応援する☆おしゃれ制度☆  
月に1回、専用のアプリに自分の私服を投稿して、抽選で選ばれた社員に『1万円』をプレゼントします！



## 会社情報！



|      |                           |
|------|---------------------------|
| 社名   | 株式会社マルチモ                  |
| 設立   | 1946年(昭和21年)              |
| 所在地  | 愛知県名古屋市港区十一屋1-11          |
| 代表者  | 代表取締役 錦見 裕介               |
| 事業内容 | 工作機械部品・産業機械部品・ダイカスト金型枠の製造 |
| 従業員数 | 55名 海外研修生(インドネシア)10名      |

愛知を代表する企業  
Best 100 Companies Selected By Made In Local



Scan Me!



学生時代はバスケットボールに打ち込み、エースとして活躍。「持ち前のポジティブさを活かして、早く戦力になりたい」と語るブリティンさんに、今抱いている思いや、今後の目標を伺いました！  
『初心と挑戦』をテーマにして、皆さんにお伝えしていきます！

## 株式会社マルトモ ブリティン 悠真



令和7年卒業

学校法人川島学園れいめい高等学校

### —学生時代に熱中していたことはありますか。

小学4年～高校3年では、バスケットボールに熱中していました。特に、高校での3年間は、バスケ一色。スポーツ推薦で入学したこともあり、レギュラーになりたいという思いも強く、明けても暮れても練習漬けの日々でした。とにかく「うまくなってやる」という一心で、練習に臨んだものです。頑張った甲斐があり、高校3年のときにチームのエースになりました。特に、コツを掴むまで練習を重ねたダンクシュートは得意技です。こうした努力のおかげで、体力と忍耐強さに自信ができました。

### —入社を決めるまでの経緯を教えてください。

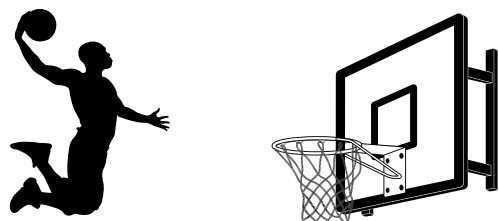
沖縄で育ちましたが、自分の知らない土地で社会人としてのスタートを切りたいと考え、担任の先生に相談したところ、マルトモを勧めていただきました。もともと自立心が旺盛で、夢を叶えるために実家を出て鹿児島の高校へ進学したほどです。新天地となる愛知で暮らすのも楽しそうだと考え、入社を希望しました。その後の面接では、社長が気さくに話しかけてくださり、会社の雰囲気も良さそうだと感じました。沖縄での暮らしについて質問され、緊張しながら答えたことを覚えています。

### —入社から3か月ほど経過し、どのような想いで業務をしていますか

研修期間として様々な部署へ行き、作業に携わっている最中です。わからないことも多々ある中、先輩方が優しく丁寧に仕事を教えてくださるため、ありがたく感じています。現在は、造形部門で少しずつ仕事を覚えているところ。難しいと感じることもありますが、真剣に取り組んでできなかった作業ができるようになると、それが励みになります。まだ大きな失敗はありませんが、油断はミスに繋がるため、毎日気を引き締めています。最近ではボルト締めや簡単な木型の組み立てが1人でできるようになり、やりがいも増してきました。研修の間に、少しでも多くの事柄を覚えて吸収するつもりです。

### —ご自身の強みは何だと思いますか。

バスケットで身につけた、積極的な姿勢です。コートでは常に、「うまくなりたい」「成長したい」という思いで練習をしてきました。挫折しそうな瞬間もありましたが、優勝という目標のため、歯を食いしばって乗り越えることができました。勝利に必要なのは、自身の技術と、チーム全体の実力の向上だと考えていたため、自分よりうまいチームメイトを見てもネガティブになることはなく、「自分もさらに頑張らなくては」という原動力になりました。諦めない気持ちやポジティブさは仕事をする上でも大切なはず。スポーツで培ってきた粘り強さを業務でも発揮できればと思います。



### —今後の目標を教えてください。

あらゆる仕事を1人で滞りなく進められる社員になるのが目標です。今は1日でも早く会社の役に立つために、先輩からの説明にしっかりと耳を傾け、仕事の流れを頭に叩き込んでいます。作業をしている中で出てきた不明点はその都度質問し、速やかに覚えるよう努めます。どちらの部署でもみなさんが親切にしてくださり、現在いる班でとてもお世話になっている石橋さんには「困ったときは何でも相談して」とお声がけいただきました。そのおかげで、安心して業務に集中できています。常に安全には気を付けるように言われているため、安全第一を掲げながら、業務を習得していきます。

頼れる戦力となるべく、日々邁進するブリティンさん。同期の3人とは、プライベートで食事をして「切磋琢磨しながら、ともに成長しよう」と励まし合っている間柄。スポーツで培った目標達成への意欲と忍耐力を、これから存分に発揮していくに違いありません。



同期の仲間たち



学生時代の仲間たち



社員一人一人がモノづくりの誇りを持ち  
家族に安心して送り出してもらえる企業をめざ  
している、株式会社マルトモさん！  
社員やそのご家族にも喜んでいただけるよう福  
利厚生にも力を入れています！  
『楽しく』と『挑戦』をテーマにインタビュー  
しました！

## 錦見 裕介 代表取締役 株式会社マルトモ



大切なのは「自分を信じること」と「一歩踏み出す勇氣」  
挑戦する気持ちこそが、あなたの未来を動かす力になります！

### 愛知を代表する企業

Best 100 Companies Selected By Made In Local



鑄造業には珍しく、無限の可能性を  
秘めた若手が多く活躍できる職場体制

#### 一株式会社マルトモはどんな会社ですか？

マルトモは、整理・整頓・清潔な職場を保ち、社員全員の安全を守り、これまで培ってきた技術力を活かし、お客様に喜ばれる製品をつくりまします。  
常に高い品質を追求し、お客様の期待に応え続けます。  
個人の役割だけに固執せず、互いに協力して、適正な利益を確保することで、会社を発展させ、社員全員の暮らしを守ります。

#### 一ゆめスタパートナーになった理由を教えてください。

若者はまだ経験が少なく、失敗や成功から学びながら成長していきます。  
誰かがそばで応援してくれることで、「自分には価値がある」「頑張ればできる」といった自己肯定感や自信が育まれると思います。  
マルトモは、今年（2025年）素晴らしい高校新卒の社員が4名入社してくれました。  
新しいことに挑戦するとき、不安や緊張がつきものです。そんなとき、ゆめスタパートナーとして応援があると「やってみよう！」「自分の夢を追いかけるために頑張ってみよう！」「という勇氣が湧いてくる。応援は、挑戦する原動力になると思っていますので、ゆめスタを通じて従業員、若者を応援するためにパートナーになりました。

#### 一仕事をする上での想いや理念を教えてください。

「誰かの役に立つこと」が自分の喜びで、仕事とは、社会や人のために何かをすることだと思っています。  
スピードや効率が求められる時代だからこそ、「誠実さ」や「丁寧さ」は仕事における信頼の基礎になると信じています。  
小さなことにも手を抜かず、相手の立場に立った行動を心がけています。  
失敗を恐れず、常に学び、変化に柔軟に対応することで、仕事を通して自分自身も成長し、まわりにも良い影響を与えられるような存在でありたいと思っています。  
どんなに素晴らしい成果も、ひとりでは達成できません。一緒に働く仲間とその家族を尊重し、お互いを支え合いながら成長していけるようなチームづくりを大切にしています。

#### 一若者活躍に向けて取り組んでいる内容はありますか。

自主性を育てるような「学びの場」の提供（外部講師を招いた講座、研修会など）に取り組んでいます。  
年齢や経験に関係なく、意見を出しやすい風通しの良い職場づくりをテーマにして、ディスカッションや定期的な面談で悩みや不安をフォローし、長く活躍できるような仕組みをつくっています。  
若者は未来を創る大切な存在です。私たちは、その一人ひとりが自信を持ち、やりがいを感じながら社会で活躍できるよう、学び・挑戦・支え合いの場を提供し続けます。未来の担い手を育てることが、今を生きる私たちの責任であり、喜びでもあります！

#### 一今後の目標を教えてください。

あらゆる仕事を1人で滞りなく進められる社員になるのが目標です。今は1日でも早く会社の役に立つために、先輩からの説明にしっかりと耳を傾け、仕事の流れを頭に叩き込んでいます。作業をしている中で出てきた不明点はその都度質問し、速やかに覚えるよう努めます。どちらの部署でもみなさんが親切にしてください、現在いる班でとてもお世話になっている石橋さんには「困ったときは何でも相談して」とお声がけいただきました。そのおかげで、安心して業務に集中できています。常に安全には気を付けるように言われているため、安全第一を掲げながら、業務を習得していきます。

#### 一学生に向けてのメッセージをお願いします。

みなさんが今過ごしている「学生生活」は、人生の中でもとても貴重な時間です。  
勉強、部活、友だちとの時間、悩みや失敗も、すべてが自分をつくる「経験のかけら」です。  
未来のことを考えると、不安や迷いもあるかもしれませんが、でも、今のあなたにしかできないこと、今だからこそ感じられることが、きっとあると思います。  
大切なのは「自分を信じること」と「一歩踏み出す勇氣」。  
完璧じゃなくても大丈夫。失敗しても大丈夫です。  
挑戦する気持ちこそが、あなたの未来を動かす力になります。これから先、どんな道を選んでも、あなたらしく進んでください。応援しています！



マルトモ公式  
Tik Tok 更新中！



マルトモ公式  
Instagram 更新中！





ゆめスタパートナー企業

業種

製造

事業エリア

愛知県江南市

# 西枇工業株式会社



どんな会社？事業内容について教えて！

## SERVICES

受け継がれる技術と誇りで高性能な自動車部品を製造し地域社会と共に未来へ貢献します

### 自動車部品組み立て



高精度が求められる自動車部品の組み立てにおいて、熟練の技術と徹底した品質管理で安定した生産体制を確立。多品種・小ロットにも柔軟に対応します。



### 生産設備設計製造



生産現場の課題を捉え、最適な設備をゼロから設計・製造。自動化、省力化を実現し、お客様の生産効率向上をトータルにサポートします。



## 会社情報！



|      |                    |
|------|--------------------|
| 社名   | 西枇工業株式会社           |
| 設立   | 1952年(昭和27年)       |
| 所在地  | 愛知県江南市上奈良町豊里31-2   |
| 代表者  | 代表取締役 鴨井 敏秋        |
| 事業内容 | 自動車部品組み立て、生産設備設計製造 |
| 従業員数 | 104名               |

Scan Me!



仕事も遊びも本気！  
西枇工業株式会社の土屋さんに『将来の夢と  
挑戦』をテーマにして、インタビューしまし  
た！同僚や後輩にも良い影響を与え、職場の  
雰囲気明るくしています！  
楽しく働く、土屋さんのお話をお届けしま  
す！

## 土屋 琴音 西枇工業株式会社



### 平成31卒業 愛知県立一宮商業高等学校



#### 一将来の夢や目標を教えてください。

私の仕事は、製品の搬出管理や伝票処理、納期の確認、そして各部署との業務調整など、製造現場を支える事務業務全般です。社内のスムーズな情報共有や進行管理を行うことで、現場の方たちが安心して製造に集中できるようサポートするのが役割だと思っています。

また、出荷手配や運送業者とのやり取りなど、物流に関わる業務も一部担当しており、モノが動く仕組みの大切さを実感する場面も多くあります。

日常生活ではあまり意識されない物流ですが、社会全体を支える重要なインフラの一つであり、そこに自分の仕事がかかわっていることにやりがいを感じます。

今後は、事務としての専門性を高めつつ、物流や製造の流れについてもさらに理解を深めていきたい。そして、もっと広い視点で物事を見られる人になれたら…それが今の私の目標であり、これからの成長に向けた想いです。

#### 一今、いちばん力を入れていることは何ですか？

AIなどが発達している中で、やはり機械に任せられるところはどんどん任せたいと感じています。

そのために、プログラムの勉強などに取り組んでいて、少しずつできることを増やしています。

ExcelのVBAマクロも活用しています。

そういったツールを使って、自動化できるところは積極的に自動化するようにしています。

#### 一成長していると感じた経験や出来事がありますか？

力を入れていることに共通しますがVBAでのプログラミングについてですね。最初はネットで見つけたコードをコピーして貼り付けることしかできませんでしたが、少しずつ仕組みを理解できるようになってきました。

今では、自分で処理の流れを考えながら、業務に合わせた応用的なマクロを組めるようになり、「あ、自分でちゃんと動かせる」「思った通りに処理できてる」と実感できたときは、本当に嬉しかったです。

業務の効率が大きく変わるので、今後もさらに活用の幅を広げていきたいと思っています。

一実際に、自分が勉強したことが社内ですべて活用されるようになると、達成感ありますよね！

はい、本当達成感があります！

しかもそれが自分だけでなく、社内のいろんな人が使うものなので、「どうしたらもっと使いやすくなるか」まで考えて作るのが楽しくて。

楽しいって表現が合ってるかわかりませんが…でも、やっぱり楽しいです（笑）

#### 一やる気やモチベーション維持するために意識していることはありますか？

オンとオフの切り替えですね。

仕事をしているときはしっかり集中して取り組みますし、プライベートの時間はきちんと気持ちを切り替えて、思いきり楽しむようにしています。

遊ぶ時間も大事にすることで、メリハリがついてやる気も保てると思います。

私は、美味しいものを食べたり、食べ歩きが好きです（笑）

#### 一これから挑戦してみたいことはありますか？

今の職場に入って6年が経つんですが、この6年間で本当にたくさんことを学んできました。

現場での業務はもちろん、パソコンの使い方やExcelの関数・VBAなどのスキル、人との関わり方まで、いろんな経験を通して身につけてきたと思っています。

これからは、そうした自分の経験や知識を、少しでも後輩たちに伝えていきたいというのが一つの目標です。

たとえば、「こういうときはこうやるとスムーズだよ」とか、「こういうやり方は避けたほうがいいよ」とか、私が失敗してきたことや工夫してきたことを共有することで、後輩たちがつまづかずに成長できたらいいなと思っています。

業務のやり方だけでなく、Excelの使い方やちょっとした効率化のテクニック、それに人間関係の築き方や職場でのコミュニケーションの取り方なども含めて伝えていきたいです。特に社会人としての“立ち居振る舞い”みたいな部分って、マニュアルには載っていないけどすごく大切だと思うので、そういったところもフォローできる先輩になれたらいいなと感じています。

#### 一なるほど、後輩のサポートにすごく前向きなんですね！

自分が新人だった頃に先輩からかけてもらった言葉や、助けてもらったことって、すごく印象に残っているんですね。

だからこそ、今度は自分がその立場になって、後輩の成長を支えられるような存在でありたいと思っています。

教えることで自分自身の理解も深まると思いますし、チーム全体がレベルアップしていけるように頑張っていきたいです。



# STAR

## INTRODUCTION

「絶対に夢を叶える」

限界は自分が決めるもの

どんな壁も乗り越える

あなたの可能性を解き放とう

人・企業・行政・学校・地域をつなぐ、希望の架け橋に



## STARインタビューについて

STARインタビューは『夢をスタートして叶えるプロジェクト ゆめスタ』の一環で『夢を叶える為にがんばっている人』を応援するサイトです。

夢に向かって進んでいる人を私たちは『STAR』と呼んでいます。

夢を叶える為に『START』している人は『STAR』のように輝いている為です。

日本におけるZ世代の4割程度が、今後の景気の悪化・停滞により、結婚・出産や住宅購入、昇給などといった個人のキャリアの展望やライフイベントが困難になると予想しています。

ただ、この闇を切り裂くのも若者の力と確信をしています。

少しでも、STARの力になり、寄り添いながら、より良い地域にする為に。

私たちは全力でSTARを応援し続けます。



## 自由な発想と自分らしさで 誰かの想いや挑戦に寄り添う

Traliebe Design Office

田中 麻椰

Maya Tanaka

1995年、愛知県生まれ。学生時代は音楽活動に没頭し、社会人としては自動車営業を経験。その後、諦めきれなかった動物看護の道に飛び込むも、現実の厳しさに直面し挫折。この経験がきっかけとなり、“人の想いを形にする仕事”に惹かれ、デザインを学び始める。現在はSingにて、採用支援や企業ブランディングに携わるうちに人や企業の魅力を“伝わるカタチ”に変えることに喜びを感じ、将来的にはクリエイティブに特化した会社の設立を目指している。

## STAR interview

### デザインの力で企業の魅力を最大限に

#### Q.事業内容について教えてください。

『仕事が苦しいという常識を180度変えて、仕事が楽しいに変えていく』これをベースにお客様の課題に対して、採用支援、営業代行、組織コンサルティングなどを通じて課題解決のサービスを提供しております。採用のマーケットに関して、サービスが飽和状態になっているので、何が良くて何が悪いかが分からない状態だと思われます。ここに対して、弊社が自信と実績をもったサービスを提供することで『現在の人手不足』『将来の人手不足』の双方を解決しております。仕組みを入れて自走できる状態にし、上司も部下も活躍し『仕事が楽しい』に変える事業を行っております。



#### Q.事業のやりがいを教えてください。

総合人財コンサルティング会社の常務兼デザイナーとして、日々さまざまな企業の課題に向き合っています。中でも特にやりがいを感じるのは、「採用」という企業の未来を左右する重要な場で、デザインの力が大きな影響を与えられることです。単に見た目を整えるだけではなく、企業の本質や想いを“伝わるカタチ”に落とし込み、求職者の心を動かす。その過程には、企業の魅力を掘り起こし、言語化・ビジュアル化し、世の中に届けていくというクリエイティブな挑戦があります。



## 無力さを痛感し、本当のやりたいを明確に

### Q.学生時代を教えてください。

幼少期はどちらかというと元気いっぱいな方で男子ともよく遊ぶ活発だったという風に記憶しています。学生時代はずっと音楽がそばにありました。幼少期にピアノやトランペットを習い、大学ではバンドに憧れてベースを担当。仲間と音を重ねながら一つの曲を作り上げていく過程が大好きでした。個性を活かしつつ、全体として調和を生む——その経験は、今のチームづくりやクリエイティブな仕事にもつながっていると感じています。



### Q.今までに大きな壁はありましたか？

私にとっての最初の大きな壁は、「憧れ」だけで飛び込んだ動物看護の道でした。動物が好きという気持ちだけで進んだものの、現実には想像以上に厳しく、命と向き合う責任の重さや、自分の無力さを痛感する日々。理想と現実のギャップにぶつかり、将来に迷いも生まれました。

でもその経験があったからこそ、自分が本当に向きたいのは「人」や「想い」であり、それを形にして届けることだと気づけました。遠回りだったかもしれませんが、あの壁があったから今の自分があります。



## 誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

### Q.今後の展望を教えてください。

今後は、クリエイティブを軸にした会社を立ち上げたいと考えています。これまで培ってきたデザインやブランディングの経験を活かして、企業や人の魅力を“伝わるカタチ”にするお手伝いを、もっと自由な発想と自分らしいスタイルで届けていきたい。また、ペットとして犬を飼っているのでも、ペットに関する事業もやってみたいと考えています。自分が嬉しいことを誰かにも提供することで、少しでも喜んでもらえると嬉しいです。チームとしては、誰かの想いや挑戦に寄り添える、そんなチームをつくるのがこれからの目標です。





## 日本の未来を本気で変える 仲間と共に輝く未来を

株式会社Sing 社長  
渡邊 大輝  
Taiki watanabe

1992年生まれ。愛知県出身。社会人までサッカーを行っていた。物流や人材派遣、人材紹介会社にて採用、定着、組織活性化について学ぶ。その後、Singの代表と出会って「今の日本を誰かが変えるのではなく、俺たちが変える」この理念に共感し、一緒に仕事をすることを決める。『全ての人が輝く社会』を関係する人たちと協力し、今よりもっと輝く日本を創りあげる覚悟から社長へ。

## STAR interview

### 今の日本が抱える問題点と解決策とは

Q.事業内容について教えてください。

人財総合支援として人財採用支援、定着支援を軸とし人財戦略やブランディングという観点からお客様をサポートしています。人手不足と言われている日本の現状に対して社員の離職が大きな問題です。原因として『人間関係』が大きく占めます。何故、これが発生するかというと『上司』が『上司としての仕事』を十分に教わっていないことや、組織的な仕組みに問題がある為です。この仕組みを入れて自走できる状態にし、上司も部下も活躍し『仕事楽しい』に変える事業を行っております。



Q.事業のやりがいを教えてください。

私たちが提供しているサービスによって笑顔が増えることが何より嬉しいですね。人手不足の企業が増えている中で、いかにして企業側は、人の確保をしていくかが重要になっています。そこに対して、使い捨てるような『うちに合わないなら辞めたら?』というスタンスではなく、『若者に合わせてやり方を変えないといけない』の感性に企業が変わり、新人の方と面談した時に改善が進んでいる時にとっても大きな喜びを感じています。日本が抱える大きな社会問題の解決に向けて、着手できているというのは大きなやりがいになってます。



## 最後の1秒まで勝ちを信じ続け行動する

### Q.学生時代を教えてください。

私は学生時代からずっとサッカーをしていました。ポジションはフォワードでストライカーとして常にゴールを狙い続けていました。どちらかというと『めちゃくちゃ賢い!』というよりも『スポーツが上手な文系』ってイメージですね。学生時代に自分を変えてくれたエピソードがあって、大事なサッカーの試合で相手が競合校で負けそうな雰囲気になっている時に「絶対、勝つぞ!」って声がチームメイトから出てきた時があり、『気持ちで絶対に勝たないとダメだ』と思った記憶があります。それから諦めそうな時こそ、この場面を思い出して自分を奮い立たせています。



### Q.社長をしていて壁はありましたか?

特に思い入れのあるエピソードとしては、資金繰りがうまくいかずにどうやって従業員の給料を払えば良いのか?の壁にぶつかった時が、今までで一番キツイ思いをしました。今まで従業員としていかに守られていたかを痛感した瞬間でした。諦めるつもりは1ミリもなかったので、どうやったら良いかを考え、仲間に相談をしながら、より顧客満足度が高いサービスを考え事業を根本的に見直しました。結果、売上が回復し、資金繰りが回るようになりました。どんな問題であっても、諦めずに考え、自分1人ではなく仲間と一緒に考え抜けば、必ず壁は乗り越えられると大きな自信になりました。



## 最高の仲間たちだから描ける最高の未来

### Q.今後の展望を教えてください。

人生が苦しいもの、仕事が苦しいという概念を変えて、『人生が楽しい』『仕事が楽しい』という概念に変えていきたいですね。本当に今の世の中は若者が夢を見づらい時代だと思います。私も逆の立場だったら同じことを思います。しかも超高齢化社会、少子高齢化は日を追うごとに拍車がかかっていきます。SNSを開けば絶望度が増す内容が多々あります。だから、諦めるではなく、だからこそ夢を持てるようにするのが私の使命です。

一番、ありがたいのは、この青春じみたことを一緒に叶える仲間がいることです。この最高の仲間たちと輝く未来へと変えていきます。





## 人の成長こそやりがい 新たな自分、 輝く場所をつくる為に

株式会社 フライ・トップ  
代表取締役社長 屋宜 勝正  
Katsumasa Yagi

1994年生まれ。愛知県出身。

自動車メーカーの整備士へ就職し、もっと人の喜びを体感できる業種を求め、人材派遣会社へ転職する。

3支店の支店長を経験し、うち新店舗として1店舗の立ち上げ成功させ、人材マーケット戦略及び組織構築のノウハウを身に着け、株式会社フライトップの代表を務める。

## STAR interview

### 日本で唯一無二の派遣会社を目指す

#### Q.事業内容について教えてください。

弊社は現状をより良くしたい求職者と人手に困っている会社をマッチングさせる事業を行っております。特徴としては人材紹介だけでなく、お取引企業様ごとの採用、定着までのサポートを行っていることです。

人材紹介会社は4万社を超えてる中、付加価値を付けたサービスのご提供と、人材不足解消に向けた情報提供を行い、お取引企業様のご発展をアテンドするよう心がけています。そして、この日本がより人と人が繋がり、思いやりに溢れた社会の実現を目指しております。



#### Q.事業のやりがいを教えてください。

一番のやりがいはスタッフ、企業様からの声を頂いた時ですね。「こんな良い企業を紹介してくれてありがとう」「屋宜さんのおかげで続いている」というスタッフの声や、「すぐに人を紹介してくれて助かった」「フライ・トップの人はがんばってくれるからありがたい」などの声は心からこの事業をやっていて良かったと思います。

また、社員の成長も嬉しく思っています。このような声を頂いた際、社員の成長のチャンスがあり、社員の成長の過程を近くで見ているのも私の中でやりがいです。



## 仲間と協力して経験した目標達成の大切さ

### Q.学生時代を教えてください。

私は学生時代からずっと野球をしていました。とにかくワクワク楽しく学生生活を送っていたと思います。当時のチームメイトと仲が良く、一緒にビジネスをやっている人もいます。部活では、仲間と協力して一つの目標を達成する大切さを学びました。試合に勝った時の喜びもありますが、負けた時にどう立ち直るかが一番学びになりました。チームとしての絆や、個人の努力の大切さを実感した部活動でした。この経験がその後の社会人生活にも大きく影響をしていると思います。



### Q.社長をしていて壁はありましたか？

社長として活動する中で、最大の壁は自分の時間管理でした。多忙な日々が続く中で、どうしても目の前の業務に追われてしまい、戦略的な思考や長期的な計画に割く時間が足りないと感じることもありました。この壁を乗り越えるために、まずは仕事の優先順位を見直しました。重要な業務には集中し、細かいタスクは信頼できるスタッフに任せるようにしました。また、週ごとの時間管理をしっかりと計画し、戦略的な会議の時間を確保することに努めました。これらを行うことによって、社長としてやるべきことにも時間を割くことが出来て、経営を軌道に乗せることが出来ました。



## 若者の未来を明るくする為に動き続ける

### Q.今後の展望を教えてください。

今後の展望としては、人材の育成にも力を入れていきたいと考えています。特に、次世代のリーダーを育てることが重要だと思っています。社員一人ひとりの成長をサポートするため、研修制度を充実させ、キャリアパスを明確にすることで、モチベーションの向上とともに組織全体のパフォーマンスを高めていきます。また、オープンで協力的な組織文化を更に強化し、誰もが意見を発信できる環境を作ることで、イノベーションを生み出しやすくすることを目指しています。これらを通じて、更に事業成長を加速させて社長になりたい希望の社員の夢を叶えます。





## 素敵＝ありのまま 今いる人材を人財へ変える

一般社団法人愛の知から  
代表理事 辻 大輔(モヒカン先生)  
Daisuke Tsuji

起業家として7つの事業を立上げ、1つを事業を承継し、計8つの会社を経営し全てを成功に導くが、その内の1社が仲間の裏切りによりドン底へ落ちる経験をするも、最終的に完全復活を遂げる。

波瀾万丈な人生から生み出された「生きていくチカラ」が詰まった、独創的なコンサルティングと、魅力開発人財育成がメディアで取り上げられ話題に。

自身が立ち上げた勝率激高の経営塾として人気だったMMB&MBM勝学では400名以上の卒業生を輩出し、その92%が満足度MAXの成功を手に入れている。

魅力を最大化し価値を最高値にしていく経営手法は、人生も経営も満足のいく結果をもたらしている。

今いる人材を人財に変える人財育成家としても活躍。

## STAR interview

### 今いる人材を人財に変える

Q.事業内容について教えてください。

1人ひとりと本気で向き合い、魅力と才能を発掘し個性と主体性を育むことで、次世代を創り、担っていく人財を育てるをコンセプトにした、人財育成家をしています。魅力をブランディングしていくという観点から、子供達から大学生、企業で働く社会人、経営者、個人事業主たちの育成だけではなく、新商品の開発や町興し、企業や事業の飛躍をサポートと、事業範囲は多岐に渡ります。



Q.事業のやりがいを教えてください。

育成していった人達が、自身の持つ魅力と才能でキラキラ輝き、自分らしく行動するようになった姿や、ブランディングをすることで飛躍していく姿を見たとき。人を育てる、会社を育てる、町を育てるということは、未来を創るということでもあり、次世代へ夢と希望、笑顔と幸せを繋いでいくことになる人財育成にやりがいを感じています。



## 真摯に受け止め、改善を繰り返して前へ

### Q.学生時代を教えてください。

今の見た目からは想像できないと思いますが、小学校の頃はイジメにあっていました。中学生になると反骨精神から、どんどん悪い方へ進むようになっていきました。素敵な恩師との出会いによって、子供の頃から好きだった野球に集中するようになり、高校生の時は野球一筋で過ごしました。この歳になってもコツコツ努力ができる能力と、最後まで諦めない気持ちの強さは学生時代に培ったものですね。



### Q.今までに大きな壁はありましたか？

壁ですか、、、  
失敗を恐れることなく、常に目の前の出来事を真摯に受け止め、反省と修正、改善を繰り返して前へ進んできました。もし壁があるとしたら、それは乗り越える試練でもあり、良き経験になって次のステージに生かされるのかなと思い、苦しいことも辛いことも向かってきました。きっと今日までに壁は、目の前に立ちだかったのかもしれませんが、乗り越えてきちゃったんでしょね。



## 誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

### Q.今後の展望を教えてください。

素には敵わないと書いて素敵と読みます。本来は「ありのままだが素敵なんだ」という考えを基に、生き辛さを感じながら人生を歩んでいる人達に、自分らしさで生きていくことの素晴らしさと楽しさを感じ、笑顔溢れる世の中にするために、子供教育、学生教育、人財育成、経営者教育、町興しを通して未来を創っていきます。





# 自分が自分らしく輝くこと 全ての人が「自分らしく」生きる

魅力診断士協会  
会長 石川 深雪  
Miyuki Ishikawa

「人は皆、ダイヤモンドの原石」わたしはそう信じています。  
外見、内面、経験、価値観... それら全てが組み合わさり、唯一無二の「魅力」を形成しています。  
しかし、多くの人がその魅力に気づかず、輝かせ方を分からないまま過ごしています。  
600名を超える女性起業家のサポートや、企業の人材育成に携わってきた知識と経験を活かし、  
あなたの「魅力」という名のダイヤモンドを見つけ、磨き上げ、輝かせるお手伝いをします。

## STAR interview

### 人の魅力を内面、外面、香りの部分から導き磨く

#### Q.事業内容について教えてください。

魅力診断士の育成をしています。魅力診断士は人の魅力を内面、外面、香りの部分から導き磨きをかけていく仕事です。診断士自身が自分と向き合いながら、お客様の中に眠る魅力を引き出していけるよう、「やり方」よりも「在り方」や「自分自身の整え方」に力を入れて指導をしています。魅力診断を取り入れることで、企業の人財育成、教育現場や親子関係・夫婦関係の改善、営業職のスキルアップ、コーチング、カウンセリングにプラスして事業を伸ばすこともサポートできます。



#### Q.事業のやりがいを教えてください。

魅力診断士は、魅力診断のメソッドに自分の得意や魅力をさらに掛け合わせて活動をしています。診断士自身がキラキラと輝く姿を見ることが嬉しいです。そしてその魅力を活かして周りの人を導いていける、「その人の最幸」を作る仕事なので、診断士の周りに笑顔が増えていくのを見ることもわたしにとって最高の幸せです。

女性の笑顔が増えることが社会が良くなることに直結していると感じるので、女性が輝き、自立して稼いでいける社会を作っていくことにやりがいを感じます。



## 一度きりの人生、自分らしく生きる

### Q.学生時代を教えてください。

小中学生の頃は人目を気にしてばかりいるいじめられっ子でした。高校に入り、恩師と出会うことで少し前向きになれましたが自分に自信がないままでした。大学に入学し、陸上部の仲間との時間の中でまた少しだけ自分らしさを取り戻していきました。勉強も運動も好きで成績はいい方でしたが、常に人間関係で悩んでいた学生時代でした。



### Q.今までに大きな壁はありましたか？

非常に厳しい父親に育てられ、子どもの頃の記憶は怒られたものしか残っていません。人の顔色を見る、自分の意見は言えないまま大人になりました。職場の人間関係、義父との関係、子育てに悩み、夜逃げをしたり心身を病んでいた時期もあります。ただ、その壁があったからこそ「一度きりの人生、自分らしく生きよう」と思えたので今があります。



## 誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

### Q.今後の展望を教えてください。

すべての人が「自分らしく」生きること、横のつながりを作り困った時に助け合える社会であることを目指しています。元介護士の経験から、その先に「人生最期の時が幸せであるように」その想いを胸に日々歩んでいます。そのためにもまずは自分が自分らしく輝くこと！  
これからも周りを巻き込み、魅力を発揮して生きる人を増やしていきます。





## 誰かの支えになる人へ 着実に前へ進み続ける

日本福祉大学 心理学部

清水 樹

Tatsuki Shimizu

静岡県出身。

コーヒー好きが高じて独立し、コーヒー屋を営む中で、多様な人との出会いを経験する。

次第に“前に出ること”よりも“誰かの挑戦を支えること”にやりがいを感じるようになる。現在は心理カウンセラーを目指し大学生へ。

動画編集やSNS支援を通じて、想いを届けたい人をサポート中。

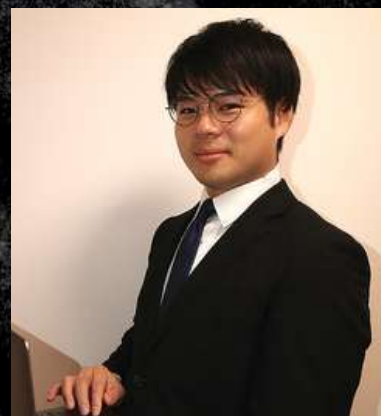
## STAR interview

### 人の心に寄り添う。日々、努力を怠らない

#### Q.将来の夢や目標は何ですか？

心理学を学び、人の心に寄り添える仕事に就きたいと考えています。学生時代や社会人時代に、自分自身が人間関係や気持ちの扱いに悩んだ経験があり、そのときに心のケアの大切さを実感しました。誰かの不安や孤独をやわらげられるような関わり方を目指したいです。

人の気持ちに寄り添う支援ができる専門職として働いて、相談を受けたり、安心できる場づくりを通して、誰かの心を軽くできるような存在になることが目標です。そのために、心理学の学びと実践を継続し、信頼される人間性を培っていきたいです。



#### Q.一番力を入れていることは何ですか？

心理学の勉強に力を入れており、講義内容だけでなく関連書籍なども読み、自分の関心を深めています。また、筋トレも継続しており、生活リズムや心の安定に良い影響を感じています。コツコツ続けることで、自己肯定感も少しずつ育っています。

心理学の学びは、人との関わりや自分自身を理解する上で役立つと感じています。また、筋トレなどを習慣にすることで得られた達成感や集中力、自己管理力は、どんな場面でも自信や安定につながると思います。日々の積み重ねが自分の土台になると信じています。



## 毎日続けることで、自分に達成感を与える

### Q.やる気を維持する為にしていることは？

しっかりと睡眠をとることを大事にしています。疲れていると物事を前向きに考えにくくなるため、まずは体調を整えることを意識しています。また、ひとりの時間を作ることでリラックスして気持ちを立て直しやすくしています。特に藤井風さんの「帰ろう」という楽曲に人生の影響を受けました。これは死生観を歌っている曲で、「何を持って帰ろうか」という歌詞に、自分が本当に大切にしたいものは何かを考えるきっかけをもらいました。焦りや迷いがあるときも、自分のペースで大事なことを選んでいこうと思える曲です



### Q.「成長した」と感じた経験は何ですか？

筋トレを習慣にできたことです。「意識を変えるには身体から」と考えて始め、毎日続ける中で達成感を得られるようになりました。また、飲食の仕事で説明不足によりお客様を困惑させてしまった経験から、伝える責任や思いやりの大切さも学びました。



## 誰かの心を軽くできるような存在へ

### Q.これから挑戦したいことはありますか？

人の気持ちに寄り添う支援ができる専門職として働いていくことに向けて、人から相談を受けたり、安心できる場づくりを通して、誰かの心を軽くできるような存在になることが目標です。その為にも、まずは心理学の学びを深め、資格取得や現場経験を通して人の役に立てる力をつけたいです。自分自身の気持ちと向き合いながら、誰かの支えとなれるような人間になれるよう努力していきたいと考えています。焦らず、着実に前に進みたいです。





## 「その人らしさ」カリグラフィーの表現の可能性をもっと広げる

日本一やさしいカリグラフィー講座運営  
MACLE GRAFF  
マクル グラフ

1995年、愛知県生まれ。学生時代は音楽活動に没頭し、社会人としては自動車営業を経験。その後、諦めきれなかった動物看護の道に飛び込むも、現実の厳しさに直面し挫折。この経験がきっかけとなり、“人の想いを形にする仕事”に惹かれ、デザインを学び始める。現在はSingにて、採用支援や企業ブランディングに携わるうちに人や企業の魅力を“伝わるカタチ”に変えることに喜びを感じ、将来的にはクリエイティブに特化した会社の設立を目指している。

## STAR interview

### その先にいる誰かへ想いを届ける

Q.事業内容について教えてください。

ロゴマーク制作・ブランド構築・カリグラフィーサービスを通じて、企業や個人の「らしさ」や「世界観」をビジュアルで表現するクリエイティブサービスを提供しています。私が考えるデザインとは「見た目の良さ」や「かっこよさ」をつくることではありません。本質は、「課題を解決し、想いを届けること」にあると考えています。お客様の「こんな世界観を伝えたい」という願いを汲み取り、最適なビジュアルへと落とし込む。それが、私のクリエイティブの役割であり、MACLE GRAFFが提供するデザインの価値です。



Q.事業のやりがいを教えてください。

一番やりがいを感じるのは、お客様の成果や変化につながっていく瞬間に立ち会えたときです。デザインを通して誰かに届いたり、喜んでもらえたり。お客様が目指す未来に、少しでも力になれたと感じられる瞬間は、本当に嬉しくなります。カリグラフィーに関しては、もっと直接的な手応えがあります。「あなたの文字が好き」「また書いてほしい」そんな言葉を、目の前で届けてもらえることがあり、それが励みになっています。デザインもカリグラフィーも、どちらも「想いを届けるための手段」。その先には、必ず“誰か”がいます。「伝わった」「届いた」と感じられる瞬間こそが、私がこの仕事を続ける一番の理由です。



## 想いに寄り添い心に届くものをつくりたい

### Q.学生時代を教えてください。

小さい頃から、とにかく体を動かすことが好きな子どもでした。走る。跳ぶ。回る。とにかく夢中で、その瞬間を楽しんでいました。中学生のとき、ブレイクダンスに出会ったことがきっかけで、ストリートカルチャーの世界に夢中になりました。気づいた時には、HIPHOPの4大要素といわれる「DANCE」「DJ」「RAP」「GRAFFITI」のすべてに挑戦し、毎日のように練習やイベント準備に明け暮れ、振付制作、楽曲編集、衣装手配など、学生とは思えないほどのタスクをこなす日々を送っていました。今思えば、あの頃夢中で取り組んでいた「誰かと世界観を共有し、カタチにする面白さ」は、まさに今のグラフィックデザインやカリグラフィーの仕事にそのまま繋がっています。



### Q.今までに大きな壁はありましたか？

デザイナーとして働いていた頃、私は毎日のように新しいデザインをつくっていました。スピード感が求められる現場の中で、たくさんの案件に関わりながら、クオリティにもとことん向き合い刺激もやりがいもありました。そんな日々の中で、少しずつ違和感が生まれました。デザインが“モノ”として扱われているように感じるが増え、情熱が少しずつ冷めていきました。それが、最初の大きな壁であり、挫折でした。それからは、人の想いに寄り添い、心に届くものをつくりたい。一瞬で消費されるものではなく、誰かの記憶に残るものを届けたい。そんな想いを大切にしながら、今はデザインと向き合っています。



## 想いを素敵に、もっと魅力的に伝える

### Q.今後の展望を教えてください。

カリグラフィーという表現の可能性を、もっと広げていきたいと考えています。「特別な技術」や「一部の趣味」ではなく、もっと身近に、もっと自由に。カリグラフィーだからこそ伝わる言葉の力を、デザインやサービス、さまざまなクリエイティブの中に活かしていけたらと思っています。また、ブランドや世界観づくりにも、より深く関わっていける仕事を増やしていきたいです。ただ“カッコいい”や“おしゃれ”をつくるのではなく、「その人らしさ」や「そのブランドらしさ」が自然と伝わるもの。お客様のイメージや想いが、もっと素敵に、もっと魅力的に伝わるにはどうすればいいか。その方法をとことん考え、「伝わるデザイン」を届けていきたいと思っています。





## 従業員満足度の向上から 定着率、生産性の向上へ

アクサ生命保険株式会社

木野 竜弥

Tatsuya Kino

愛知県春日井市出身 大学卒業後、ABCマートに就職。  
たくさんの人と出会い知識をお伝えしながらご納得頂き感謝をされる事に喜びを感じ、もっとたくさんの人に専門的な知識をお伝えしながら成長過程でお手伝いができる仕事がないかを探し、自動車学校に転職。まだ何も分からない、社会ルールである交通ルールを指導する立場になり、自分自身も大きく成長した。そして、もっともっとたくさんの人にお会いしながら個人として長く支えることが出来ないかと考えた末に、アクサ生命保険に転職し、様々な人、企業の支援を行っている。

## STAR interview

### デザインの力で企業の魅力を最大限に

#### Q.事業内容について教えてください。

2つの柱があり、企業の事業補償資金や、社長様従業員様の退職金準備資金などのお話をさせて頂いております。もう1つとして、人手不足により企業が無くなっているの現状があります。そうならないよう経済産業省が提唱している健康経営のサポートをしております。

健康経営とは、企業が従業員の健康状態を把握しそれを経営理念に取り入れて追求することです。

追求することにより、従業員様の満足度が上がり生産性の向上、定着率を向上させるお手伝いをさせて頂いております。



#### Q.事業のやりがいを教えてください。

一社一社で抱える課題は異なるため、丁寧にお話を伺いながら、お客様と一緒に問題を共有し、最適な解決策を提案しています。時には難しいご相談もありますが、「安心できた」「ありがとう」といった言葉を直接いただける瞬間は、この仕事をしていて本当に良かったと感じる場面です。保険を通じてお客様の経営や人生に深く関わることによりやりがいを感じています。また、お客様との信頼関係を築いていく中で、自分自身の成長を実感できるのも魅力の一つです。日々の積み重ねが、社会に貢献しているという自信にもつながっています。



## 無力さを痛感し、本当のやりたいを明確に

Q.学生時代を教えてください。

授け入得意苦してろ解に自の飛で得はばった紐うの時校くどは語伸残のをよさの学手な強英をにな手すしあ小上会勉にと象手苦すしあ。な。大。特。こ。印。象。苦。強。す。し。あ。た。ん。で。た。な。が。て。補。強。す。し。あ。し。み。し。た。き。の。故。え。て。学。ま。の。ま。に。力。ま。し。た。き。の。故。え。て。学。ま。の。て。の。努。し。で。は。れ。何。考。け。思。人。し。な。は。躍。き。君。わ。に。？。見。し。た。と。を。単。と。活。好。「。言。ち。う。を。ま。と。び。簡。あ。り。が。に。と。う。ろ。点。り。な。に。跳。に。の。あ。系。生。！。く。だ。弱。が。に。私。高。な。も。数。先。！。の。う。の。上。礎。は。私。り。ん。、。薦。理。の。う。い。の。分。が。基。間。走。こ。い。推。が。塾。も。し。な。自。数。の。時。で。「。思。の。す。た。捆。試。来。、。点。方。と。部。に。て。上。で。い。を。に。出。で、。え。言。上。時。っ。陸。た。て。ッ。直。て。と。ら。考。一。陸。た。！。も。っ。っ。コ。素。し。こ。た。の。の。と。っ。？。校。か。通。の。強。す。ど。い。を。物。講。師。高。や。の。高。な。強。す。ど。い。を。物。講。師。中。で。い。し。は。で。勉。ま。、。て。強。の。の。！。小。業。な。賞。で。手。て。い。う。い。の。勉。分。塾。す。



Q.今までに大きな壁はありましたか？

自分自身どこまでやれるのかを試したいと思い、スキルアップのためには転職を繰り返してきたので、日々壁にぶつかっていました。特に専門職に就くことが多く、「なぜかなかったため、知識として覚えることが多いのか」と思ふこんな大変なことをしなければならぬのか」と思ふこの壁を越えたいと多々ありましたが、自分の知らない世界が広がるなり、世界観が広がっていくことに楽しさを感じたり、なりました。その過程で、自分の考え方や視野が少しずつ柔軟になっていくのを実感し、新しい環境にも前向きに挑戦できるようになりました。



## 誰かの想いや挑戦に寄り添える会社を

Q.今後の展望を教えてください。

私は私と関わった全ての人から感謝されたいです。ありがとう！助かった！この一言が私の活力になります。時にはお叱りを受けることもあります。それは私を成長させてくれるものだと思っています。そんな私をこれからも必要と思ってもらえるように日々たくさんの人にお会いすることが私の使命であります。そして、これからの将来を不安に思っている人に不安ばかりではなく様々な出来事があり楽しみが沢山あるということをお伝えしたいと思っています。





## クライアントの理想や ビジョンを実現へと導く

起業家

岡崎 隆之介

Ryuunosuke Okazaki

1997年生まれ、岡山県出身。島根大学を中退後、「このままでは終われない」と自分の可能性に挑むべく営業の世界へ飛び込みました。最初は失敗続きでしたが、努力を重ねてトップセールスとなり、最速で課長へ昇進。数々の現場で成果を出す中で、「誰かの想いをカタチにすること」にやりがいを感じるようになりました。現在は個人事業主として、営業代行やコーチングを通じて、クライアントの理想やビジョンを実現に導くことを使命に活動しています。

## STAR interview

### 可能性が開花していく瞬間を支援

Q.事業内容について教えてください。

営業現場での経験を活かし、個人・法人向けに営業代行やコンサルティングを提供。実践的な支援で成果に直結する仕組みを構築しています。加えて、20～30代の個人向けにパーソナルコーチングも展開し、自己成長やキャリア形成を支援。さらに、鍼灸サロンなどの店舗経営者には、組織づくりや売上改善のサポートを行い、持続可能な経営を後押し。人と組織の可能性を引き出す支援に取り組んでいます



Q.事業のやりがいを教えてください。

かつて私も「自分にできるだろうか」と不安を抱えていたからこそ、営業支援やコーチングの現場で自信を失っていた人が前に進む瞬間に立ち会えることに、特別な意味を感じています。最初は目標も曖昧だったクライアントが、セッションを重ねる中で自分の言葉で夢を語り始める。その変化の過程に伴走できることは、人生の転機に関わるような深い喜びです。営業やコーチングを通じて人の可能性が開花していく瞬間こそが、私の原動力です。



## やりたいことを全力でやりきる大切さ

Q.学生時代を教えてください。

プロ協ッき合え自、の、とみい  
キ間一付き応いか分てこ痛て  
み、仲タ当と待、す、通けの時感  
込す。一、身期きかがををつある  
ちで、に、自のづ動す験見のと  
打たで、時分囲氣をで経をい  
にっ中、の自周に分つこの性す  
スケかる生ては自分自すこの向ま  
ス多す2年めで自にし。方が  
バが力学、れい本、し生っに  
はと努大れそてがしま人な分  
でこて。ら。き何直り、と自  
高るった振た生。えなし盤の  
中めかし然しにす。考に直基今  
球、務向ま突ままでを確める  
球をにびにれまのか明つ作そ、  
は委員標準学女らるたのが見をこ  
頃級らさた強さ始た目面自か  
の学が切いを流をきや内自のた  
生やな大てと、析生観の今つ  
学しののっこり分う値分、あす  
小テ力プ合うた己ど備自ががま



Q.今までに大きな壁はありましたか？

大学を中退した直後、目標もなく、自分が何のために  
生きているのか分からないまま時間が過ぎていき  
ました。焦りや不安で頭がいっぱいになり、何をし  
ても手応えを感じられず、もがく日々が続きました。  
しかし、そんな迷いの中でも目の前のことに一つひ  
つ向き合い続けただけで、少しずつ自分の内側にあ  
る思いや価値観が見えるようになってきました。振り返れば、  
その不安定な時間こそが自分を深く掘り下げるき  
っかけとなり、「やりたいことは、全力でやり切った先に  
こそ見えてくる」と気づけた貴重な経験でした。



## 自分の人生を自分で選べる人を増やす

Q.今後の展望を教えてください。

営業×コーチング×教育の力を掛け合わせ、「自分の  
人生を自分で選べる人」を一人でも多く増やしたい。  
そんな思いが、今の僕の原動力です。その実現に向け  
て、目指しているのは“最強のNo.2”。社長やリーダ  
ーの熱いWILLを、仕組みや数字、具体的な行動に落  
とし込み、現実へと変えていく存在でありたいと思っ  
ています。自分一人で成し遂げるのではなく、チーム  
の力を最大化し、周囲に大きなインパクトを生み出  
す。そんな在り方を極めていくのが、今の僕の挑戦で  
あり、未来への展望です。





# 体が変われば人生が変わる その実感をもっと多くの人へ

RE.MA

代表取締役 豊藏 広大

Kodai Toyokura

2000年、兵庫県生まれ。幼少期からスポーツが身近にあり、専門学校ではトレーナーの道を専攻。卒業後は一度大手家電量販店に就職するも、やはり人の身体と向き合う仕事が諦めきれず、女性専用パーソナルジムのトレーナーとして転職。1年経たずに最年少で店長を任され、キャリアを重ねる中で「身体の変化が人生を変える瞬間」に魅力を感じるように。現在は女性特化のパーソナルジムRE.MAを運営し、トレーニングとボディケアで“その人らしい美しさ”を引き出すサポートを行っている。今後は自由な働き方と自分らしい暮らしを実現する店舗づくりを目指している。

## STAR interview

### 体が変われば人生が変わる

#### Q.事業内容について教えてください。

『美しさを纏うためのオーダーメイドボディメイク』として、“細くしなやかな身体になりたい”という想いを叶えるため、女性特化のトレーニングとボディケアを提供しています。トレーニングではピラティスの要素を取り入れ、身体の使い方から見直すことで、無理なく美しいボディラインへ導きます。ボディケアでは、ストレッチや可動域の改善を重視し、動かしやすく疲れにくい身体を目指します。身体の状態や目標に合わせて、食事やライフスタイル面のアドバイスも行い、“続けられる”を大切にしたい習慣化のサポートをしています。



#### Q.事業のやりがいを教えてください。

女性特化のパーソナルトレーナーとして、身体が変わっていく過程を一緒に歩めること。そしてその変化がその方の人生に前向きな影響を与える瞬間に立ち会えることが、この仕事の一番のやりがいです。見た目の変化だけでなく、気持ちや行動まで明るく変わっていく様子を見るたびに、この仕事を選んでよかったと感じます。いつかその方が過去を振り返ったときに、「あの時に豊藏さんに教えてもらったトレーニングが転機のかきかけだった」と思い出してもらえるような、そんな存在になれることが私の原動力です。







我慢じゃなく、  
“自分らしさ”で輝く未来へ。

幸せシンクロパートナー  
山崎 智美  
Tomomi Yamazaki

1970年愛知県生まれ。ずっと「いい子」を演じ、自分を抑えて我慢し続けてきた結果、学校や職場のいじめや夫の浮気・DV、借金など人生のどん底を経験。その中で心の学びに出会い、「ありのままの自分」を認めることで人生が好転し、心からの笑顔を取り戻す。今は、同じように苦しむ人が「ありのままの自分」を認め、幸せにシンクロしていくためのセッションを行っている

## STAR interview

### “ありのまま”が力になる

Q.事業内容について教えてください。

「私なんて…」「私が我慢すれば…」という思い込みを手放しありのままの自分に還ることで、人生をもっと自由に、もっと幸せに生きられる。そんな在り方をベースに、お客様の内面に寄り添いながら、セッションを通じて自己受容を深め、潜在能力を120%引き出すサポートを行っています。自分を認められず、人と比べたり周囲の目を気にしたりして、本来の力を押さえ込んでいる方が多い現代社会。そのような方々に向けて、自分らしく輝くための土台を整え、心からの笑顔を取り戻すための仕組みづくりをお手伝いしています。



Q.事業のやりがいを教えてください。

セッション後に見せてくださるお客さまの笑顔や、「社員との関係が良くなり業績が上がった」という経営者の方の声が、何よりのやりがいです。また、セッションの中で私自身も多くの気づきを得られ、それを次のサポートに活かすことができています。お客さまと共に歩み、共に成長していけることがこの仕事の醍醐味であり、大きな喜びです。人の可能性が開いていく瞬間に立ち会えること、それが私にとっての原動力です。







# 苦難を乗り越えて 夢へ向かって走り出す

石川 優大  
Masahiro Ishikawa

小学生はいじめにあいながら登校し、中学生で完全に学校に行かなくなり、ゲームに熱中し結果プロゲーマーを目指す。ランキング日本一や大会優勝など経験したが、彼女が出来たことをきっかけにアルバイトを開始する。その後元々好きだった車への熱意が爆発し、高校生の時に、自費で免許と欲しかった車を購入する。彼女と車関係のお店を開くことを夢見ながら、現在はアルバイトでお金を貯めながらサーキット走行や車に対しての勉強を行っている

## STAR interview

### いつか最高の空間の店舗出店を

#### Q.将来の夢や目標は何ですか？

彼女と共に車関連のお店を持ち、オリジナルのパーツやカスタムした車で走ることです。2人とも車が好きという共通点があり、二人でいつかお店を持てたらと言うふうに思っています。また、現在飲食店勤務ということもあり、その経験を活かして飲み物や食べ物も少し出したいという風にも考えています。車好きの方達が気軽に集まれて整備などもできて、お腹も満たせるような空間を作ること为目标に頑張っていこうと思います。



#### Q.一番力を入れていることは何ですか？

今年神奈川に引っ越すので、その費用と車の修理費を稼ぐためにしているアルバイトです。掛け持ちで飲食店勤務をしており、長い日は朝早くから夜遅くまで、休みも2週間に1回程度で、頑張ってます。車好きで乗っている車も古い車です。サーキット走行もするので故障することが多く、1回の修理で30万以上支払いにかかることもあるので、そのための資金を稼いでいます。彼女が神奈川に住んでおり、車の集まる場所なども多いという理由から神奈川でお店をやりたいと思い、神奈川に移住する予定でお金を貯めています。





# #ハッシュタグの

甘い言葉にだまされないで！



WARNING



闇バイトは、アルバイトではなく、犯罪！

強盗・窃盗



特殊詐欺



スマホ・口座転売

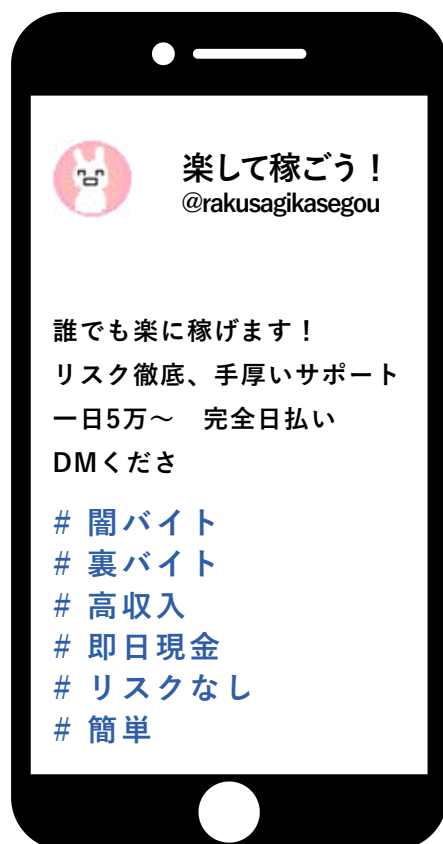


物品の運搬  
・マネロン



etc . . .

## SNSで楽に稼げる バイトって大丈夫？



犯罪組織

実行者



① SNSで募集

③ 匿名性の高い  
アプリへ誘導

⑤ 犯罪行為の指示

② SNSで応募

④ 個人情報を送信

⑥ 犯罪行為の実行

※犯罪組織のコマにされ、使い捨てされる



きっかけの

多くはSNSから！



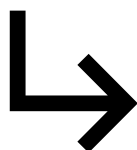
仕事内容が曖昧

個人情報を提示させられる

年齢、経歴等問わない

犯罪行為後

個人情報を知られ、脅されて、  
抜けられない



逮捕



民事賠償を負う

犯罪に加担しないために

- ① 簡単に高収入の仕事は存在しないので、まずは疑う
- ② 闇バイト等怪しい言葉が使われていたら、やらない
- ③ 闇バイトに加担したとしても、一人で悩まず、警察や家族に相談する



愛知県警察





## 夢を見つける

好きなこと、楽しいこと  
自分のなりたい姿  
自分だけの夢



## 夢へと進む

夢に向かってスタートする  
少しでもいい、無理はしない  
楽しんで進む



## 夢を叶える

夢を夢で終わらせない  
実現させる  
美しい人生と未来へ

皆様の想いをのせて、これからもはばたき続けます

株式会社Sing



夢をスタートして叶えるプロジェクト